



当会イベントで国会議事堂見学(8月5日)

- 01 挨拶…会長挨拶
写真…応援歌練習、女子が少ない頃か
- 02 挨拶…立石隆博 校長(鳳28期)
報告…28年度 総会・懇親会、新入会員歓迎会
- 03 鳳鳴塾…講師 藤盛紀明(鳳11期)
「新たに知る 北秋地域の古代、中世」
- 04～06 短信…各集いからの便り
- 07 案内…29年度 総会・懇親会 ご案内
- 08 特寄1…いつもそばにある踊り
佐々木麻衣子(鳳49期)
- 09 特寄2…我が人生は「ドラムス」にあり
湯瀬貞司(鳳20期)
- 10 特寄3…思い出の鳳鳴高校から科学研究に
戸部 博(鳳18期)
- 11 イベントご案内…
「戸嶋靖昌の見たスペイン」展＋
スペイン料理会食(お酒付き)
- 12 PJ報告…ゴルフ同好会PJ
ボーリングPJ
囲碁将棋PJ 親睦棋会

綿密に、親密に



東京鳳鳴会会長
佐藤 茂樹
(鳳20期)

昨年6月の総会で東京鳳鳴会会長を仰せつかりました。しかしながら私と東京鳳鳴会とのかかわりは浅く幹事の皆様にご指導を請う日々が続いております。

鳳鳴卒業と同時に上京、会から歓迎会の通知を頂き、友の顔、憧れの人の顔が浮かびましたが、受験浪人の身は晴れがましい場には相応しくないと考え出席を見合わせました。

学生、社会人となっても多忙に託つけて、会への思いも希薄になりました。10年前のある日、翌年が総会

当番期とのことで同期幹事から招集され渋谷に10名ほどが集まりました。40年ぶりの再会でしたが、すぐに昔の顔になるのは同窓の常です。その後毎月のように打ち合わせと称する飲み会を繰り返すうち会の先輩、後輩とも面識ができ、神田事務所に顔を出すようになりました。

“綿密をもって親密を図る”を旨とし40年のご無沙汰を挽回すべく微力ながら務めを果たす所存です。なにとぞ皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

[告知] 平成29年度 東京鳳鳴会 総会・懇親会 開催

本年度の総会・懇親会開催日時は以下の通りです。多数のご参加をお待ち申し上げます。

平成29年6月4日(日) 受付・11:00～ 開会・正午12:00



平成28年度東京鳳鳴会 総会・懇親会 新入会員歓迎会 <開催報告>

6月の第1日曜日、6月5日(日)に千代田区九段下のホテルグランドパレスの2階ダイヤモンドルームにて平成28年度の総会・懇親会を開催しました。

午前中は同ホテル3階の別会場にて新入会員懇談会を母校の立石隆博校長(28期)、担当教諭の肥田宗友先生、新入会員(新卒業生・68期)12名、東京鳳鳴会有志の方々が出席して開催されました。終了後は2階ダイヤモンドルームでの総会・懇親会に参加していただきました。

大館からは根田穂美子会長(22期)、桑名秀明副会長(33期)、小泉慎子常任理事(16期)、中嶋義隆氏(65期)のプロボクサー中嶋隆成君のお父さん、また東京近郊から小番巖元教諭、また能代高校、能代工業、能代商業、能代西高校の同窓会幹事の方々、秋田県東京事務所から長嶋直哉課長にご出席いただき、計17名のご来賓をお迎えしました。

同窓生は大中41期・田所勝太郎、大中43期・石川貞蔵、大中43期・森陽一、大中46期・二階堂剛の先輩方を長老に153名が参加しました。

総会の司会は若松竜太(48期)氏。役員改選年の今年には総会において以下のとおりの役員人事が承認されまし

た。
役員一覧 ()内は卒期
会長=佐藤茂樹(20)
副会長=熊谷良次郎(20)、阿部信一(21)、今福輝子(23)、高橋透(35)、谷本玉緒(36)
幹事長=田中義雄(27)
監査役=金澤章夫(17)、高田一徳(22)

懇親会の司会は和田潤子(18期)、石戸谷均(18期)氏。メインアトラクションは喜多流能楽師として活躍されている佐藤陽(52期)氏と8名(藤盛紀明(11期)氏を含む)の方々に喜多流の能の謡をご披露いただきました。

その後、初の鳳鳴出身プロボクサー中嶋隆成君と父上を壇上に迎えて、ご紹介と先輩諸氏からの激励スピーチ。

つづいて初々しい新入会員ひとりひとりが自己紹介。さらに毎年参加の小番巖先生の紹介と続きました。最後に次回幹事の「9」の期一同(11名)が壇上で決意表明。いつもながらの盛り上がりでした。

そして二次会はいつもの通り最上階のラウンジバーで。幹事のみなさまご苦労様でした。(田中義雄 27期)



立石隆博
大館鳳鳴高等学校校長
(鳳鳴28期)

全定併設の新しい姿

大館鳳鳴高校はこの3月に、全日制課程22●名、定時制●名の第69期卒業生を送り出しました。定時制課程の卒業生は、昭和33年以来、59年ぶりです。全日制と同じ日の午後を実施した定時制卒業式にも、根田会長はじめ鳳鳴会役員多数ご出席頂きました。また4月6日には全日制23●名、定時制●●名の新入生を迎え、119年目をスタートしました。昨年度は、新しい学校の姿に慣れない部分も多くありましたが、今年度は順調な滑り出しです。

さて大館鳳鳴高校は、来年度学校創立120年を迎えます。記念式典は、平成30年10月13日(土)に予定しています。詳細日程やそのほかの記念事業については今後具体的に決めていきます。全日制・定時制併設の新しい姿の学校として、同窓の皆様と共に節目の年を祝いたいと思っています。

東京鳳鳴会の皆様を始め、同窓の方々の来し方に敬意を表し、感謝するとともに、引き続き母校へのご支援をお願い致します。

祝 平成29年度 東京鳳鳴会 総会・懇親会 開催

平成29年6月4日(日)

13期が「短信」でトップに掲載されているが
まだ年寄りの筆頭と思われたくない
総会に参加し元気な姿を見せよう

明石輝雄 淡路春夫 石井耕教 石川壽昭 石田満男 石戸谷則雄 伊藤輝夫
稲毛浅利 上野靖雄 大藪光男 木村国雄 木村昭義 木村茂樹 窪田優江
工藤進 古家宏昭 小坂毅司 小林育子 桜田泰之 佐藤将臣 佐藤正俊
城貞夫 白井俊武 菅谷幸子 菅原博充 高田博 高松正俊 武内恵
武田紘一 田畠一男 中川亜雄 中村ヒロ子 鳴海悠祐 西川寛 能登洋治
島澤郎 細谷順子 前小屋貫 宮越紘 武藤東寿子 毛内栄之助 山田貞子
山田响 若松紀彦

<鳳鳴13期有志>

第12回「東京鳳鳴塾」報告

新たに知る 北秋地域の古代、中世

講演 藤盛紀明氏 (鳳鳴11期)



平成29年2月22日(水)第12回鳳鳴塾が、「葉業健保会館」(千代田区永田町)で開催されました。参加者は57名、ふるさと「北秋田」の話に興味津々で集まった鳳鳴OBの方々でした。以下は「北秋地域の古代、中世」と題した藤盛紀明氏(鳳鳴11期)の講演記録です。

私は歴史の研究者ではないが、「北東北歴史懇話会」という歴史の会を主催し、様々な先生方からお話をお聞きし、それなりの歴史観を育んできたつもりだ。

福原大館市長は、周辺の市町村と連携しての地域活性化を推進しているようだが、元来「大館は古代から北東北の交流の結節点であった」と私は考えており、市長と意を同じくするところだ。

今一番の興味は日本国(初期大和政権)がいつ始まったかということだ。今日は、人類がどういいうかたちで秋田県に渡って

きたのか、縄文時代がどうであったのかを話していきたい。また、平安時代に北東北は日本国から独立していたのではなにかという考えがあるが、そういった様々な歴史の観点から、ある意味私なり

の解釈でお話をしていきたい。
人類は矢立峠を通過して日本へ

人類は10万年前にアフリカからスーランド(インドネシアあたり)を通過して北へ移動する。暖かくなり海面上昇とともにスーランドが小さくなり、中国・シベリアに移動。日本列島にはそこから北海道を南下し、矢立峠を通過して渡ってきたようだ。6000年前(三内丸山の時代)、遺跡の周辺には栗林が広がっていた。温暖な気候下では食料の確保が容易なので、大きな集落になるわけだ。

寒くなってくると今度は、人類は食料確保のために居住区が分散していく。大

湯にあるようなストーンサークル(環状列石)がみられるのがこの頃。古代には「歌垣」という思想があり、周辺の人々

(男女)が年に何回か集い、交流するというものだが、ストーンサークルをそのようにとらえることも可能だ。北秋田市(鷹巣)の伊勢堂岱遺跡と青森の小牧野遺跡に同じ石組みがある。すなわち縄文の時代に北東北での互いの行き来、交流があったのではないかと考えられる。当然ながら矢立峠を通過して、である。

続 縄文の時代

渡来人が日本列島に稲を持ってくると大和政権が成立していくことになる。西の方は弥生時代となるが、まだ北東北あたりは縄文人がおり、阿武隈川をはさんで彼らは「蝦夷」と呼ばれていく。この頃の土器の動きを見ると、面白いことがわかる。つまり、発掘される土器は米代川に沿って延びるものと、比内(火内)・大館を通過して、つまりは矢立峠を通過するという道筋だ。

大和政権下で、阿倍比羅夫が秋田・能代(鷹巣の緩子神社にきているというが不確か)まで討伐にやってくるが、攻めるといふより、贈り物を持って来たという方が

考えた方がい

元慶の乱(878年)における考察
火内(比内)を始めとした出羽国米代川周辺の12ヶ村の蝦夷が律令政府と対立し、連戦連勝していくのが元慶の乱である。自分たちに都合の悪いことは残さないので勝者の論理ではあるが、官軍は600人中50人しか残らなかったとか、官軍側の敗戦記録が随所にみられる。

最終的には小野春風が鎮守將軍として秋田城に入ったが、略奪された甲冑347足は22しか戻っていない。1400頭の馬もすべてそのまま返却されてはいない。アテルイの時と違い、蝦夷側は処罰されてはいないのだ。小野春風は幼年期にこの地で育ち、蝦夷の言葉を理解出来たから、安比から鹿角、大館を通過して、つまりは遠く離れた地の蝦夷を説得しながら秋田へ向かったという。それゆえ乱が鎮静化したのだらう。しかし北の蝦夷と戦い、終戦交渉を行った総大将藤原保則は帰京後に降格させられていく。つまりは負け戦だったわけだ。北東北の蝦夷は強かったのだ。その後、大和と蝦夷が交流することになる。

律令文化の時代

前九年の役は陸奥守源頼義が出羽の豪族清原武則の

力を借りて陸奥の豪族阿倍頼時・貞任を滅ぼした事件であるが、その後陸奥・出羽で勢力を得た清原氏一族の内紛を陸奥守源義家が清原清衡に助力し平定していく。後三年の役である。清原清衡はこの後奥州藤原氏の基礎をつくっていくことになる。独断から矢立峠をめざす「奥の大道」も清衡の手によるものだろう。

中世の大館の支配者 浅利

常陸の甲斐豊富村から鹿角地頭となり、その後比内地方にやってきたのが浅利氏。安東氏に攻められてはいつも津軽の方に遁走していたらしい。当然ながら矢立峠を通過して。

このように、矢立峠が北東北のキーワードとして浮かび上がってくる。大館は北東北の交流の結節点なのだ。福原大館市長は「大館は北東北のヘソ!」、三館(大館・函館・角館)一緒にと言うのが、大館は元々人が行き来してきた、行き来するところなのである。

講演終了後、「葉業健保会館」レストランで、藤盛氏を囲んで、51名の鳳鳴OBの懇親会がおこなわれました。矢立峠が出現しておりました。(鳳20期 熊谷良次郎)



台湾料理 媽媽媽

各種宴会 承ります

TEL・FAX 03-3253-6001

営業時間 平日 11:30~15:00 17:00~23:00 (日曜定休) 土祝 11:30~15:00 17:00~21:00

(写真上から) ①最近になく大勢の聴講OBで埋まった会場。②左 塚ノ下遺跡出土土偶。大英博物館に展示されたこともある。③右 講演中の藤盛紀明氏。④懇親会は講演会場の階下にあるレストランで開催された。

「短信」各集いからの便り

世界のポストから スリナム共和国 (南米)



● 鳳鳴十三期 ゴルフと共に 女子プロゴルファーの渡邊彩香プロ



が練習用コースとして使用しているゴルフ場の倶楽部監事をして、例年プロツアーが始まる前に同コースで行われる渡邊プロの壮行会コンペに参加している。同じ組でのプレーはできないが、一緒に写真を撮ったりサインを買ったりと、ミーハーを楽しんでいる。

年会では、幹事の努力で年々新しい参加者が増え、元気にゴルフを楽しみ活躍中との近況報告を聞く嬉しく心強く思う。

最近では、年金や医療費のことからか、75才からを老年者にするなどと言われているが、そうなる年寄りでも元氣だぞなどと自慢できなくなり、少し寂しい気もする。新しい後期高齢者の基準が何歳からなるのか興味もあるが、その歳までは動ける体でゴルフができるよう頑張りたいと思っ

● 鳳鳴十四期

14期、初の昼食会楽しむ

11月4日に「上野の森・昼食会」と美術鑑賞を開催しました。当日は、快晴無風と最高の天気恵まれました。しかも28名(女性陣は6名参加です)もの参加があつて想定外の盛況でした。

会場の「韻松亭」は明治8年創業の松林に囲まれて趣に満ちたお店。今回の参加者には、54年ぶりのI君、3年ほど前から会うようになったM君という新人?の参加もあつて、皆さんは随分と喜んでいました。料理は美味しい懐石風。そして活発な会話で2時間は短かったです。報告は数人で、その中でもI君の話は15年前に勤務医として千葉市原に引越して、子供と5人の孫に恵まれて安定した生活のようでした。次にM君は、2日前に自動車事故に遭つてしまいました。皆に会いたくて来たとのこと。さらに驚くことに、Sさんも6月に同じく自動

車事故で救急車の世話になったとのこと。自動車事故で後遺症無で皆と会え



るとは本当に守られていたのですね。二時間の食事後、直帰組とカラオケ組と分れてから散策組は、上野に詳しいO君のガイドで「上野の森」を楽しみました。まず「清水観音堂の舞台」から江戸時代には浮世絵にも画かれた松の幹が円形になっていてその中から不忍池を見下ろしました。次は不思議にもお顔だけ残った「上野大仏」そして「上野東照宮」など、O君の解説でなければわからない散策をたっぷり楽しんで後、世界遺産に指定されたばかりの国立西洋美術館前で鑑賞

組、帰宅組、後発のカラオケ組と別れ、美術館組は2時間余の鑑賞をしました。500年前の「クラリーナハの絵」

でしたが、皆初めての画家らしく、見慣れない絵ばかりでした。遺産に指定されたのは「ルコルビュジェの設計による建物」ですが、この美術館は奇しくも我々が高校に入学した昭和34年6月に開館しています。特集の絵は地下3階まで階段を上つたり降りたりでの鑑賞です。その後も1階、2階の通常展示場を見てから、美術館前の茶店でやつとゆつくり。疲れましたが、全て楽しい思い出になりました。

上野は駅前からお祭りのような人出でした。いかにこの年まで上野を知らないで来たことかと思わされた次第です。そして上野に限らず折角首都大 学東京圏に住んでいるメリットをこれから活かして皆さんと楽しんで参りたいと思いました。(石井邦夫記)

● 鳳鳴十六期

平成29年1月22日(日)午前10時に、東武スカイツリーラインの「姫宮駅」に集合し、駅から300メートルほどの幸坂君の自宅に向かった。

このところ恒例となった「きりたんぽ会」に参集したメンバーは、あいうえお順に石垣紀昭・香澤緑明・佐藤勲・佐藤洋子・高橋俊光・和田アイ子。いつも通り手分けをして宴の準備に取りかかる。緑朗君の手慣れた手つきでのきりたんぽ握り、勝手では洋子さんとアイ子さんが肴の設え、外では私、佐藤勲が幸坂君の指導のもとU字溝の囲炉裏でたんぽ焼き、俊光君、紀昭君

鳳鳴16期のみんな、総会へ行こう!

<世話役> 小棚木幸雄 幸坂 正次 TEL 090-2242-3433 E-mail: kousaka.3846@mbn.nifty.com

村上総合保険事務所 村上 芳明 (鳳鳴14期)

TEL 03-3559-0021 FAX 03-3559-0021

高田一徳税理士事務所 税理士 高田一徳 (鳳鳴22期)

事務所 TEL 03-5443-2168 電話 03(5443)2168 FAX 03(5443)3439 E-mail: byu01600@nifty.ne.jp

鳳鳴 25 期の皆さん 6月4日(日) 総会で会いましょう



「(株)日本産直市場」 下田 直能 「八幡平の支援の会」 阿部光太郎 「十和田石の支援者」 佐藤 健次

は出来上がったたんぼの受け渡しなどなどワイワイやりながらの処に、千葉の八千代台からはるばる電車を乗り継いで高橋千春君が到着、メンバーが揃ったところで皆席にねまって開宴（註「ねまる＝座る」）



じつと我慢していた喉の渴きをビールで乾杯。その瞬間から気持ちちは鳳鳴の頃の10代に戻り、多重音極まりなくクラブ活動のこと、強歩大会のこと、一応勉強のこと、桂生のこと（一部の）、強歩大会の道中、○○先生から「タバコあるが。一本くれえ」、学年マドンナのKさんが亡くなられたことなどなど。法事で大館に行つていて小棚木幸雄君が送ってくれた銘酒と今回のサブメニューの熊汁、ハタハタ、バッケ味噌、秋田の酒から「百年の孤独」まで、手も口も休まることなく飲み食いしながら古稀を通り越したとは思えないほどのパワーを炸裂し、鳳鳴時代の話題に尽きることなく盛りあがる。そうこうしているところへ中澤保宏君が時間をやりくりし登場、これで今回の全員集合となり、宴も最高潮。

常連の小林奎治君は、奥様からの連絡

で翌日が通院日とのことで参加できず残念であった。

時間無制限とはいえ、飲み、食べ、しゃべり疲れ、帰るべえとなり、「今年も1年元気で頑張るべえ」と散会。それぞれの家路に向かった。厳しかった今年の冬のなか、一転温かくなり、みんなの願いが叶ったような穏やかな日だった。新年会も兼ねていたので、平成29年の良いスタートができてよかった。

●鳳鳴十七期

（佐藤勲記）

昨年から今年にかけ古希という人生の節目を迎えた「東京十七会」は、昨年と同じ上野駅前「音音バンブーガーデン」で3月4日開催。

幸い天候に恵まれ、参加者は男性23名、女子1名で例年より若干少なかったものの、大館からは伊東良裕十七会事務局長が参加してくれたほか、佐藤



重弘君が卒業以来初めて参加するなど、なかなかの盛会になりました。特に今回は、参加者全員に自己紹介を兼ねた簡潔な近況報告スピーチをお願いし親睦を高めるきっかけにしました。

メンバーの中には、もう28回も海外旅行を楽しんで来た人や古希を迎えてから新たに習い事を始めた人、週に何回かは仕事を続けている人、七十歳になつたら医療費の負担がこれまでの三割から二割に軽減して高齢を実感した人など様々な話題。俺もそうだと同意したり、羨ましがったりして大いに会話が弾み名残り尽きないまま、笑顔で集合写真を撮影。そして次回も元気で再会できることを願いつつ関東一本締めで散会となりました。（黒沢綱太記）

●鳳鳴十八期

29回目の同期会

鳳鳴高校を卒業して50年、昨年も「10月第三土曜日」29回目の同期会が開催された。参加者は48名、今までの2番目の多さです。女性は13名。初参加者は戸部博君（特別寄稿を参照）と阿部鉄義君、阿部君とは50年ぶりだったが、お互いよく覚えていてうれしい。昔はゴツイおっさんのイメージがあつたが、人懐っこく温和でスマートになつていた。成長したんだなあ（お前の記憶がおかしい！の声）。参加人数も多く、最近では一番笑顔のあふれる会になつた。二次会までは大いに飲んだが、三次会初めて皆コーヒーだった。四谷の夜風が心地よかつた。18期は69才。やっとロックな年になつたぜえ！

【追記】 昨年の東京鳳鳴会の総会では、栗盛信太郎会長の有終の美を盛り上げようと17名の同期が結果しました。幹事の期でもあるので、受付にはとびきりのビジョを数名配して対応し



ました。皆さんありがとう。（写真）右から2人目が、阿部鉄義君です。（石戸谷均記）

●鳳鳴十九期（当番幹事）

そこは銀座のど真ん中に出現したインドネシア・バリ島か（行ったことはないが）。

昨年11月19日、ガムランの音が響きそうなレストランで始まった同期会。参加者24名は落ち着かない雰囲気だったが、それも最初のうちだけ。酒が入つ



名探偵はいませんが、世田谷ではちょっと有名な病院です

外科 整形外科 消化器科 皮膚科 ETC.

古畑病院 FURUHATA HOSPITAL

院長 古畑 正（奥様は秋田美人）
副院長 佐藤茂樹（鳳鳴20期）
〒154-0001 世田谷区池尻2-33-10
☎ 03-3424-0705
http://www.furuhatahospital.com/

祝

平成29年度「東京鳳鳴会総会・親睦会」開催

東京鳳鳴会のさらなる発展をお祈りしております。

コスモエンジニアリング株式会社

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 4-21-6 第3キズメンビル3F
TEL 03-3980-2020 http://www.cosmo-eng.com

代表取締役 成田 孝志（鳳24期）

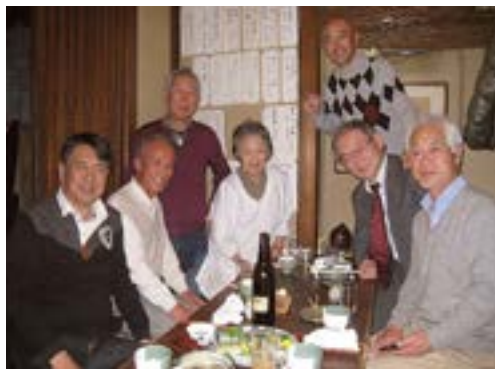
産業プラント設計第三部主任 伊藤 圭介（鳳47期）



● 鳳鳴二十期
20期短信(2017年)
平成19年8月、渋谷「秋田」で、関東地区の20期親睦会が開催されてから10年です。当初は「東京鳳鳴会」総会の当番幹事の役割が控えていたので、毎月のように親睦会が開催されていたのです。そして、クラスが違っていても一度杯を交わすと大親友になるという不思議な経験もたくさん味わったものです。
最近では渋谷駅前の「ちゃぼん」なる

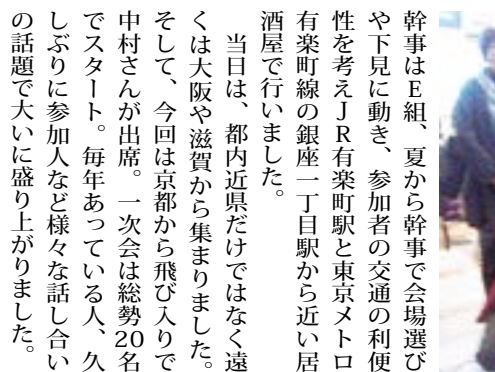
てしまうと、いつもの風景に戻っていった。酒好きな秋田県人だね。酒のつまみは何と言っても参加していない同期の悪口(されたくなかったら出席しない)。
我が期で特筆すべきは女性陣の圧倒的な存在感だ。少人数ながらいつも話題の中心にいる。時には命令口調で用事を言いつけられる。家でも外でも一緒だな(個人的感想)。とは言っても仲は良い。今年は卒業後びったり50年、頑張っぺ! (花田攻・記)

● 鳳鳴二十期
27期の東京鳳鳴会は、定例の11月12日(第2土曜日)に実施。今年の飲み会を開催いたしました。
(阿部信一記)



● 鳳鳴二十一期
首都圏での同期会はなかなか開催できませんが、五年毎の大館での同期会まで間がありますので是非、東京でも開催できたらと思います。
LINEやFacebookで同期の情報が頻繁に入ってくるので、突然の飲み会なんて言う事もよくあります。話題は年金や病気の事、色々出てきますがまだまだ元気です。銀座「独門倶楽部」、目白の「五城目」でミニ飲み会を開催いたしました。
(熊谷良次郎記)

● 鳳鳴二十二期
幹事はE組、夏から幹事で会場選びや下見に動き、参加者の交通の利便性を考えJR有楽町駅と東京メトロ有楽町線の銀座一丁目駅から徒歩近い居酒屋で行いました。
当日は、都内近県だけではなく遠くは大阪や滋賀から集まりました。そして、今回は京都から飛び入りで中村さんが出席。一次会は総勢20名でスタート。毎年あつている人、久しぶりに参加人など様々な話し合いの話題で大いに盛り上がりました。
あつという間に予定の3時間が過ぎ、2次会へと移動。今年は、外へ出て移動するのは面倒だと思い、同じビルの別の居酒屋で2次会を実施。2次会から参加の人がいました。2次会は2部屋に分かれてしまいました。途中でメンバーを入れ替えて、尽きない話に盛り上がり、この後に3次会のカラオケに移動。3次会から参加してくれた人もいて、出席者23名で無事に終了。
(佐藤裕貴・記)



● 鳳鳴二十九期(当番幹事)
第7回首都圏同期会が11月26日信濃町の鮎処で行われました。
前々日に11月では54年ぶりの積雪(大館の人に笑われる)があり、心配されましたが雪はすっかり消え、神宮外苑のいちようがとても綺麗でした。
秋田市から斎藤常雄先生をお迎えし、首都圏同期会とはいえ北海道、宮城、大阪と遠方からの参加もあり18名での賑やかな会になりました。先生か

● 鳳鳴二十九期(当番幹事)
第7回首都圏同期会が11月26日信濃町の鮎処で行われました。
前々日に11月では54年ぶりの積雪(大館の人に笑われる)があり、心配されましたが雪はすっかり消え、神宮外苑のいちようがとても綺麗でした。
秋田市から斎藤常雄先生をお迎えし、首都圏同期会とはいえ北海道、宮城、大阪と遠方からの参加もあり18名での賑やかな会になりました。先生か



● 鳳鳴二十九期(当番幹事)
第7回首都圏同期会が11月26日信濃町の鮎処で行われました。
前々日に11月では54年ぶりの積雪(大館の人に笑われる)があり、心配されましたが雪はすっかり消え、神宮外苑のいちようがとても綺麗でした。
秋田市から斎藤常雄先生をお迎えし、首都圏同期会とはいえ北海道、宮城、大阪と遠方からの参加もあり18名での賑やかな会になりました。先生か

四季折々の懐かしい再会を祈念して
首都圏20期会
会長 佐藤 茂樹 090-9019-3120
幹事 鈴木 均 090-3900-6161
熊谷良次郎 080-5645-1407
20期掲示板
jpdo.com/cc12/127/joyful.cgi

29 KI GRADUATES WANTED REWARD \$300
鳳鳴29期 首都圏同期会のご案内
今年の同期会は「11月25日(土)」を予定しています
皆さまのご参加を楽しみにお待ちしております
11月最終土曜日
< 幹事: 秋山、多久、田中、花田、築瀬 >
青山健 赤尾靖晴子 赤石稔 秋林園子 秋山永作 浅利昇 阿部暢彦 石黒朋子 石戸谷雅子 伊多波良
伊藤智子 伊藤洋子 大黒和彦 大森栄一 粕田幹純 金澤禎子 川口満義 川田俊秋 小笠原茂人 桐生とし子
工藤佳則 桑名哲夫 五井昭生 小池志郎 高坂昇 小瀬秀樹 小堀寿亮 佐々木悦子 笹木のぞみ 佐藤昭博
佐藤修 佐藤雅昭 佐藤啓孝 菅原修 高杉健二 高橋敦 滝悟 多久祐子 竹内均 武田克人 武田真二
武田信樹 田中峰雄 田原栄人 対馬久美子 角田幸男 戸嶋博昭 長崎尚 中津川真吾 浪岡ひとみ 成田巧
成田弘子 成田雅彦 乳井芳彦 花田紀美子 羽生信一 平瀬美佳 藤田夏奈子 古瀬巧 本多博子 真崎康博
松橋茂樹 松橋博基 三浦公男 皆川圭吾 宮野則昭 村上信夫 柳館昌子 築瀬博章 山田和人 吉田かおる
若狭英則 若松るり子 渡部典子 (首都圏在住者及び2016年参加者一同)
29期 ML に首都圏外在住も含め67名が参加しています。同期の方を見かけたらご案内下さい。
tanaka@genesis-co.jp まで

本年29年度「総会・懇親会」ご案内

1年に一度の賑わいにぜひ、ご参加を!



本年29年度の当番幹事「9」期の皆さん（本年2月神田事務所にて）

日時 平成29年6月4日(日)
 開会 正午12:00・受付午前11:00～

会場 ホテル「グランドパレス」3F 白樺+鶴+亀

会費 一般会員 10,000円 30才未満 7,000円
 学生 3,000円 新入会員 2,000円
 （全て年会費2,000円を含む）

会場へのアクセス＝地下鉄「九段下駅」から
 ▷東西線7番口（富士見口）より徒歩1分
 ▷半蔵門線・都営新宿線 3a・3b 番口より徒歩3分

楽しかった28年度の新入会員歓迎&懇親会。写真のアラカトをどうぞ!



受付は18期の皆さん



歳の差35才



元気な大先輩たちで乾杯の音頭!



立石校長と新入会員が勢揃い



女性新入会員に人だかり



久しぶり! 23期の二人



プロボクサー中島隆成くん(右)



アトラクションは「能の謡」でした



笑顔いただき



期は違えど、我らは成章中



次回の幹事は「9」の期よ

特別寄稿 1

いつもそばにある踊り
佐々木麻衣子(鳳鳴49期)

鳳鳴49期 花輪一中出身の佐々木麻衣子と申します。

先日久しぶりに誘われ、国会議事堂見学勉強会の懇親会に参加しました。久々の鳳鳴会、会長の勢い、また先輩方のお元気な姿、明るく楽しい先輩後輩に鳳鳴高校の伝統を感じました。

現在私は会社勤めの傍ら、日本舞踊活動をしております。最近の活動においては、平成28年8月国立劇場に於いて、日本舞踊協会城南ブロック日本舞踊公演で「新版酒餅合戦」に出演し、先輩方が応援にかけてくださいました。同じく11月には盛岡にて、前々理事長追善公演「しのぶ会」にて、「長唄春の調」を踊らせていただきました。

この演目は二人立でした。一緒に踊っていたのは、鳳鳴高校出身の後輩です。彼女も今東京で同じ師匠のもとで勉強し合う仲間です。

また同じく12月には、花輪文化祭において、「長唄連獅子」を姉弟子と25年ぶりに踊らせていただきました。今回は衣裳・大道具がない素踊りで、踊りそのものを見ていただくもので、一層緊張しました。花輪にコモッセという素晴らしい劇場ができました。今後も花輪においても日本舞踊の公演ができると思います。



私は3歳の時、花輪で日本舞踊の流派であります、水木流に入門しました。



またここ数年は海外の方向けに踊らせていただくこともあります。平成26年には台湾の台北・台南・台中にて、世界3か国から歌と踊りの代表が集まる芸術祭に参加させていただく機会がありました。日本からは日本舞踊が代表になり、三味線唄・鳴り物の生演奏、自分たちで舞台を整え、衣裳をまとい、結髪・化粧をするという公演でした。日本チーム一丸となり一生懸命努めました。海外での公演は本当に心に残るもので、幼い頃から日舞を続けてきてよかったと思える瞬間でした。

また東京・千葉・神奈川のコンベンション事業の一環で日本舞踊をさせていただくことも最近では多くなりました。国際交流や、観光客の増加を推進する事業の一部ですので、日本舞踊が社会に貢献させていただくのもありがたいことです。

た。彼は杵屋佐吉さんの御息です。今回私は五世杵屋佐吉作曲の「長唄阿波踊り慕情」を踊らせていただくと思っております。由緒ある曲をさせていただけるのは大変うれしいことです。ただただ踊りが好きで続けてきた私は、今頃になって基礎の大切さを痛感しました。これからも過信せずに、踊りの基礎を大切に、そして丁寧に踊ることを心がけていきたいと思います。計り知れない演目数で必死に覚える日々ですが、恩を返すためにも稽古を重ね、後世にも引き継げる存在でありたいと思います。

(写真上から) ①筆者 ②花輪ねぶたにて。後列右から二人目 ③「長唄春の調」平成29年11月 徳ぶ会・岩手県民会館にて。右・水木歌蓮(佐々木麻衣子) 左・水木紅耶(田中麻耶・鳳鳴57期卒) ④「長唄 三日月雷女太夫」平成25年10月 水晶会・日本橋公会堂にて。右女太夫(水木歌蓮) 左・雷(水木紅耶)

東京鳳鳴会様
当店での各期 同期会開催 ありがとうございます

本格秋田料理「吾作」

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-29-2
アクセス・JR「五反田駅」徒歩2分
TEL 03-3491-2221 FAX 03-3492-6622

HP 検索 ↓ 吾作

中央区日本橋3-1-2 NTA日本橋ビル8F
TEL 03-3327-2285 96
FAX 03-3327-2847 1

鳴海悠祐 (鳳13) 税理士事務所

相統のご相談もお気軽に!

鳳鳴 27期

九嶋信義 齋藤裕子 藤裕貴 庄司眞子
五十嵐努 池田均 小笠原勝 加賀靖 樹下高子 木村行成
杉淵由博 高橋重美 田中義雄 島山和久 山脇章平 藪田清彦

今年の幹事は【C】です
同期会を企画
詳細後日

集おう!
首都圏大館
ふるさと会

日時・2017年11月18日(土)
11時30分より
会場・ホテルイースト21東京
東京都江東区東陽 6-3-3

首都圏大館ふるさと会
会長 工藤 捷 (鳳12期)

特別寄稿 2

我が人生は「ドラムス」にあり

湯瀬貞司（鳳鳴20期）

昭和25年1月15日、大館の玉林寺という寺（母の実家）で生まれた私。父は西安（シアン）で中国人200人、日本人40人程の社員を雇い、日本陸軍の衣料品や食料等を扱う湯瀬公司（株式会社）を経営していたとか。時節柄護身用にモーゼル自動拳銃を肌身離さず持っていたそうです（写真があります）したが、火事で焼失。しかしこの戦争は勝ち目が無いとして、母と5人の子供達（姉4人兄1人）を大館に帰還させたものの、自分は部下と共に残り、敗戦後（終戦とは決して言えない？）はソビエトに抑留されました。その後、昭和23年の10月には何とか日本に帰還出来たそうです。もし父が帰れなかったら、今の私はいません。



そんな私は、大館三中で鳳鳴とブラバンド部でパーカッション（打楽器）を受け持ちました。結成以来秋田県大会ですつと2位に甘んじていた鳳鳴のブラバンド、私が3年生の時です。進学の為メンバーが抜ける中、残ったメンバー30人（Bクラス）は夏休み返上で夜8時まで体育館で特訓。その成果が秋田県大会の優勝。その勢いで、東北大会も優勝！皆でステージの暗い袖で駆け廻って泣きました。次の全国大会は40名（Aクラス）なので、大会はここまででした。しかしたとえBクラスであろうとも、優勝出来た事は全員の誇りだと今でも思っています。この時の指揮者は伊藤公泰君です。このことは音楽の先生と相談の上決めました。多分、高校のコンクールで、生徒が指揮者って言うのは稀有の事だと思います。

卒業後の私は、迷わずに東京の立川に存在する航空自衛隊航空中央音楽隊のオーディションを受けました。その日の受験生は、パーカッションだけでも8人いました。音楽の基礎理論とソルフェージュ（フランス語・譜面を読んで歌う事）・スティック（打棒）での実技テストと、まるで音楽大学の試験のようでした。結果は、私ともう1人の2人が合格でした。ただし、ここはあくまでも自衛隊、隊員の基礎は学ばなくてはなりません。たとえばそれは真冬の基地でのこと。カービン銃（銃）をもって走りされ、わざと水溜まりの所がくると、「伏せっ！」です。後には想像におまかせします。

訓練終了後、ようやく立川へ着任。そして2週間の練習後に、いきなり新宿の厚生年金会館（観客数2千人）での定期演奏会！担当楽器はタンバリン&シンバル（後にスネアドラム・小太鼓や抜粋メンバーのフルバンドでドラムスをやるようになります）でした。これは本当は超難しなんです。幸い鳳鳴時代に嫌と言う程やらされたんで、何とかやり遂げました。因みにこの時のゲストは朱里エイコさんでした。以後、雪村いづみさんや千昌夫さんと結婚したジョン・シエパードさん、アイジュージさん等々有名なミュージシャンがゲストとして迎えられていました。ジョン・シエパードさんが、演奏会（定期演奏会以外でしたが）終了後に、高級日本酒の一瓶を四本も提供してくれた事は今でも覚えていています。勿論、付き人の方が持つてきてくれたのですが。

一番の思い出は、奥尻島に行った時の事です。夕方、私達「空音」は、青森の大湊港にある海上自衛隊大湊分隊から大型護衛艦「おおい」に乗船しました。出航まで3時間。「おおい」の艦長が「うちのヒマな隊員達がイカ釣りをしてるんで、よかつたらやってみませんか？」というので、めちゃ明るい照明の元、「空音」の好きもんが釣りざおを借りてイカ釣りをやり始めました。「海自」の連中はパッカばっか釣れるのに、我が「空音」は河豚ばっか（これは後で役立つ）！そんなこんなで、いよいよ出航。この出航時刻がまたいいんです。午後5時に動きだし30分もしたら、食事の合図のラッパが鳴り響きました。この時は離島慰問ということで、「空自」はいつもより人数が少なく12人でした。食堂へ行ってびっくり！艦長以下、航行任務以外の隊員達が皆拍手で迎えてくれたんです。もつと驚いたのは、蟹・うに・いくら・釣ったイカ・河豚等のご馳走三昧！特にびっくりは河豚でしたが、ちゃんと免許を取得している炊事担当の隊員が調理したとのこと。もう大宴会でした。こうなったらこちらもお返しと云うことで、「空音」のメンバー（6人だったかな？）が酔いにまかせて、小ジャズ演奏会です。

大館のきりたんぼ、全国にお届け致します。

きりたんぼ以外はすべてカット済み
順番に皿に入れるだけで割烹の味

手作りきりたんぼ鍋セット
2人前 3,888円
3人前 5,832円
送料は地域により変更

電話・FAX・インターネットからご注文承ります

お電話 0186-42-7543
FAX 0186-43-0156

お名前 割烹美さわ 検索

お刺身美さわ
秋田県大館市新町22
三澤文人（鳳鳴36期）

鳳鳴21期生へ
〈昭和44年3月卒業〉

卒業して48年、
東京鳳鳴会総会で
待っています

会長 佐藤正行
080-5683-9624(携帯)

幹事 阿部信一
090-8463-5566(携帯)

副会長
秋高連
在 京 秋 田 県 高 等 学 校
同 窓 会 連 合 会

栗盛信太郎（鳳18期）

〒181-0012
東京都三鷹市上連雀1-11-19-103
TEL 0422-15581551
携帯 090-1557215935



いわゆる団塊の世代と呼ばれた昭和 22、23 年生まれの一員である。どこでも人が溢れて見えた。小学 1 年生のときに北海道から転入し卒業するまで過ごした鷹巣小学校、その後に入學した鷹巣中学校（2 年生から前田中学へ転校）、今どれも懐かしい。しかし、鳳鳴高校で学んだ 1 年間は、今なお強烈な思い出として残っている。初めての下宿生活、3 時間目終了後の早や弁お腹を突き出して歌う応援歌の練習



転校先の県立青森高等学校から東北

京都大学を定年退職して 5 年が過ぎた。退職後は東京へ通うことが多く、その折に中学時代（旧森吉町立前田中学校）の鈴木弘俊（鳳鳴 18 期）さん、庄司文孝（鳳鳴 18 期）さんと旧交を温めてきた。そこに旧阿仁合線仲間の桜田博さん（阿仁中学校卒）が加わることもある。この 3 年間は夏に秋にふるさと前田を訪れ、森吉山登頂を楽しんできた。彼らに誘われて、昨年 10 月 15 日に東京で開かれた鳳鳴高校の同期会（18 期）に初めて出席させていた。2 年生からは転校したため、鳳鳴高校には 1 年間だけの在籍であったが、皆さんに快く受け入れていただいた。

秋の競歩大会、父親の死、ケネディ大統領の暗殺、岩木山遭難。しかし今、古いアルバムをめくっても当時の写真はほとんどなく、鳳鳴高校校舎の写真が数枚貼ってあった。徽章の写真もある。徽章をつけた帽子をかぶって学校へ通ったときの何と誇らしかったことか。



行き場が無くなり博士課程に進学した。これが私の人生を変える一歩となった。研究が面白い。面白ければ昼も夜もなく研究する。前述した中学時代の友人たちと旧交を温めることがあっても、私自身の研究について話したことが一度も無い。一口に言えば、地球上の植物の進化の研究である。今から 5 億年前に海から上陸した最初の植物が 30 万種以上に進化し多様化した。いつ、どこで、どのように、さまざまな植物が進化し、それらが今どのように生きていくか、未来は？など、いろいろな手法で調べ、考える、まる

で謎解きをする探偵のごときである。博士課程 1 年で中退し、その後千葉大学に職を得て、さらに京都大学へ移り退職するまでの 40 年間、世界中のさまざまな植物を調べてきた。私が調べ論文にして初めて伝えた植物が無数にある。30 才代はじめ、学位（理学博士）取得後間もなく、妻と 2 人の幼い子供を連れて初めて海外へ渡り、アメリカ合衆国セントルイスにあるミズーリ植物園で 2 年間、植物進化の研究に専念することができた。そこで知った植物園の園長（ピーター・レーブン）が素晴らしい人で、私の世界観を大きく変えた。この人との出会いと理解がなければ私の今はないと思っている。植物進化の研究は実利の面からは目立たない基礎科学研究そのものである。そのような基礎科学研究の一つが昨年大きな話題になった。私が会長を務める学会（公益社団法人日本植物学会）会員の 1 人である大隅良典さんが、ノーベル生理学・医学賞を受賞された。大隅さんは、酵母におけるオートファジー、すなわち細胞内にできた二重膜構造体（オートファゴソーム）が自ら

(写真上から)
 ①筆者
 ②右・当時の鳳鳴高等学校校舎
 ③左・左から、戸部博、庄司文孝（鳳鳴 18 期）、桜田博、鈴木弘俊（鳳鳴 18 期）
 ④森吉山山頂にて、3 人も疲れた顔で記念写真。左から戸部博、鈴木弘俊、庄司文孝

関東十四期会 (としごろかい)

- ①「一金会」・毎月第 1 金曜日に開催 17:00～19:30 2 時間 30 分（十四期生に限らず、どなたでも自由に参加できます）
 - ②「一金会ホームページ」を開設・十四期の動向を紹介 (URL : <http://ichikinkai.com/>)
 - ③「ゴルフコンペ」・春秋 2 回、自由参加のオープンコンペを開催（日程は、その時期に上記ホームページに掲載します）
 - ④「新年会」+「イベント」の開催・1 月中旬～下旬
 - ⑤カラオケ同好会を年 3～4 回開催
 - ⑥春と秋には首都圏の名所で「昼食会」+「イベント」を新規に開催予定
 - ⑦東京鳳鳴会の開催イベント（鳳鳴塾、総会、ゴルフ会、ボーリング大会、囲碁会等）には同期の多数参加を図る
- 会長・長井 忠昌 会長代行・石井 邦夫 幹事・畠山 忠昭
 (連絡先) e-mail: htwtn484@yahoo.co.jp Tel & Fax 048-259-5917

となかい 東京十七会

昭和 40 年卒業の同期会
 毎年 3 月頃 懇親会を開き、
 楽しく旧交を温めております

幹事 山口忠雄 090-5818-4280
 黒沢綱太 090-9009-2213
 山本英俊 090-2558-5673

東京鳳鳴会
イベント
ご案内

「戸嶋靖昌の見たスペイン」展 + スペインコース料理 (お酒付) へのお誘い



Tosima Y.



Albayzin1



Albayzin2



Cervantes

魂を描く
戸嶋の足跡
鑑賞

「戸嶋靖昌 (鳳 4 期) の見たスペイン」展

2017年1月「NHK日曜美術館」で放映の戸嶋。スペインでの足跡は…

戸嶋靖昌はスペインに渡り約 30 年間、グラナダのアルバイシンに長年住み、その風土と人々を描き続けた。戸嶋が制作に使用したもの、生活のためのものも展示されます。戸嶋靖昌記念館の伏木裕美子氏と学芸員の説明を受ける予定です。

場所: セルバンデス文化センター東京 〒102-0085 千代田区六番町 2-9 セルバンデスビル 2 階ギャラリー

料理が語る
スペイン
の文化

スペイン料理会食 お酒付き (飲放予定)

日本で最もスペインを感じるセルバンデス文化センター東京の最上階にあるレストラン「メソン セルバンデス」で堪能する



Mesón-Cervantes 7F



Mesón-Originals



Mesón-Cervantes 7F

- 開催日時・平成 29 年 6 月 8 日 (木) 15:00
- 集合場所・JR 四谷駅「麴町口」地上
- 鑑賞時間・15:15~16:45
- 食事時間・17:00~19:00
- 参加者へ・詳細通知
- 募集人数・30 名程度
- 参加費・6,000 円 (料理+飲み放題)
- 申込方法・同封の総会出欠ハガキ
メール: tokyo@homei.jp
FAX 03-3254-5255



JR 四ツ谷駅「麴町口」(集合場所)

作ったタンパク質などの細胞質成分を食べ、液胞と融合し、やがて液胞内で分解していく、それらの現象を詳しく調べ、そこに関わる 14 の主要な遺伝子を発見した。遺伝子が変わればタンパク質が分かり、そこから哺乳類を使った研究へと広がり、今では他の研究者によるガン細胞や病原体の排除などさまざまな研究へと発展している。大

隅さんご自身は、酵母の研究がいつかノーベル賞に結びつくとは考えてもいなかったでしょう。もっと知りたい、伝えたいというのが基礎科学研究の面白さそのものなのです。ただ、その基礎科学の中でも大隅さんの研究の原点でもある生物学が今危機的状況に陥っている。過去 10 年間の統計データをみると、生物系大学院に進学する学生数

が激減している。原因の一つは、最近高校生物の教科書が大きく変わり、内容が広く深くなり過ぎて、高校教員が生物を教えられなくなってしまった、という現実がある。私は退職後の現在も以前の研究室(京都大学大学院理学研究科)へほぼ毎日通っている。そこで未知の植物の研究を重ねる一方、大学院の授業や、

幾つかの国立大学へも出かけて教育に関わるほか、松下幸之助記念財団、日本学術振興財団、日本学術会議などにおけるさまざまな社会活動にも携っている。前述の生物を志向する学生数の減少の問題や「男女共同参画」の課題などにも取り組み、残る時間、少しでも社会に貢献できればと思っています。

払込取扱票を
紛失した場合

「ゆうちょ銀行」から
「東京鳳鳴会」へ払込む方法

平素は東京鳳鳴会へ年会費、ご寄付などのご送金、まことに有り難く感謝申し上げます。ところで、東京鳳鳴会からの「払込取扱票」を無くされた場合には、ゆうちょ銀行にある「払込取扱票」に記入され、ご送金をお願いいたします。

- 見本の赤字はそのままで記入してください
- 青字はご本人の内容を記入してください
- 手数料が掛かります。係員にお訊ね願います

00160 5	16990	¥0000	00160 5
東京鳳鳴会			東京鳳鳴会
年会費	円	合計 ¥0000	16990
寄附	円		東京鳳鳴会
			¥0000
ご住所			ご氏名
			(鳳鳴 期)
ご氏名(鳳鳴 期)			

プロジェクト報告

ゴルフ同好会PJ

平成28年度ゴルフ同好会活動報告

東京鳳鳴会ゴルフも春は51回、秋は52回目を開催いたしました。第51回大会(写真上)は平成28年5月13日(金)にあやめ東コースにて25名の参加でおこなわれ、平泉 元(14期)さんがネット71・4で優勝いたしました。

第52回大会(写真下)は10月21日(金)にあやめ西コースに26名の参加で行われ、谷田部雄太(24期)さんがネット70・6で優勝いたしました。いずれも鳳鳴校章入りのロックグラスを贈呈い



ました。前会長の山口一成(8期)氏にも感謝の意をこめてロックグラスを贈呈させて頂きました。両大会とも天候にも恵まれて無事終えることができました。鳳鳴の先輩、後輩が多数参加して親睦の和が広がる事を願って、今年も53回(H29年5月12日予定)、54回(同年10月予定)を開催予定ですので多数の参加をお願い致します。ゴルフ同好会幹事 阿部信一(21期)

ボウリングPJ報告

平成28年度ボウリング大会報告

☆第21回大会 9月24日(土)参加者16名

▼会長賞：和井内貞夫(23)▼準優勝：望月久(18)▼3位今福輝子(23)▼団体優勝：望月・小林・今福チーム▼望月久(18)小林道明(21)今福智仁(子息)▼参加者：武田純一(13)能登洋治(13)大川進(14)畠山忠昭(14)木村千代(15)小棚木幸雄(16)小畑惇(17)横

井繁明(19)阿部信一(21)佐藤健次(25)成田武文(25)

☆第22回大会 3月12日(日)参加者18名

▼会長賞：今福輝子(23)▼準優勝：栗盛信太郎(18)▼準優勝：田中義雄(27)(同点準優勝)▼団体優勝：能登・武田・中川チーム▼能登洋治(13)武田純一(13)中川重雄(13)▼参加者：大川進(14)畠山忠昭(14)木村千代(15)望月久(16)金澤章氏(17)

囲碁将棋PJ 親睦棋会

昨年度の活動は、春と秋の2回行われ、春は3月4日に東京駅八重洲口の「いずみ囲碁ジャパン」で研修会を行い、小番先生、石川貞蔵(D46)、二階堂剛(D46)の大先輩を囲み7名で対局を楽しみました。秋は伊豆高原(日本ユニシス保養所)で15回目となる一泊親睦棋会を11月14・15日に開催しました。写真(敬称略)は夕食時のもので、右から其田一雄(H9)、小番先生、加賀敬悦(H8)、大澤陸郎(H15)、小池紀夫(H14)、立花隆(H7)、竹村健一(H14)、横田昇(H14)、関村信行(H14)、平泉元(H14)の10名です。昔の恩師のあだ名の話に花が咲きました。(H15朝日編)



小畑惇(17)佐藤茂樹(20)小畑政広(21)小林道明(21)和井内貞夫(23)佐藤健次(25)今福智仁(子息) ◎21回大会優勝：和井内貞夫「優勝させてもらいありがとうございます。200点出したのは初めてです。次回も優勝目指し頑張ります。何よりも同郷の人達と逢うことを楽しみに毎日都内を走り回り仕事に励んでいます。今後



後も宜しく。」 ◎22回大会優勝：今福輝子「何よりも大会に参加して下さる皆様に感謝。いつもは少ないストライクの出たのがよかったのでしょうか?これからもより多くの参加者を集い、大会を盛り上げていけたらと思います。ありがとうございます。〈氏名表記：敬称略〉(幹事今福輝子23期)

「NHK日曜美術館」にて放映された 戸嶋靖昌記念館

スペイン・グラナダで約30年に亘って画業を続けた 洋画家 戸嶋靖昌(北秋田市出身、鳳鳴4期)の作品を常設展示

住所：〒102-0083 東京都千代田区麴町1-10 パイオテック(株) TEL 03-3511-8162(要予約) 開館11:00~18:00 日・祝休 公式Webサイトの地図はこちらから <http://shigyo-sosyu.jp/art>

作品左「黒の草舟」/作品右「街・三つの塔-グラナダ遠望-」

写真(上)第21回参加者(下)第22回参加者